

2026（令和8）年度（第2期）

高崎経済大学大学院

経済・経営研究科博士前期課程入学試験問題

専門科目試験

< 経済数学 >

（9：30～10：50）

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題は1ページ、解答用紙は2枚あります。
3. 解答には筆記用具（黒鉛筆、シャープペンシル）、消しゴム以外のものは使用してはいけません。
4. 試験中に問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて試験監督者に知らせてください。
5. 解答用紙の※印欄には、何も記入してはいけません。
6. 問題冊子は、持ち帰ってください。

専門科目試験：経済数学

問題 1 1変数の実数値関数 $f(x)$ が点 $x = a$ で連続であることの定義を述べよ。ここで、関数 $f(x)$ の定義域は実数全体の集合である。

問題 2 1変数の実数値関数 $f(x)$ が点 $x = a$ で微分可能であることの定義を述べよ。ここで、関数 $f(x)$ の定義域は実数全体の集合である。

問題 3 実数全体の集合 $\mathbb{R}$ の空でない部分集合 A について、 A の上限 ($\sup A$) の定義を述べよ。

問題 4 関数

$$f(x) = \begin{cases} 0 & x \geq 0 \text{ のとき} \\ x^2 & -1 < x < 0 \text{ のとき} \\ 1 & x \leq -1 \text{ のとき} \end{cases}$$

が $x = 0$ と $x = -1$ で連続であるかを定義にしたがって判定せよ。また、 $f(x)$ が $x = 0$ と $x = -1$ で微分可能であるかを定義にしたがって判定せよ。

問題 5 $D = \{(x, y) : 1 \leq x + y \leq 3, -1 \leq y - x \leq 1\}$ とするとき、

$$\iint_D xy dx dy$$

の値を求めよ。

問題 6 次の行列式の値を求めよ。

$$\begin{vmatrix} 0 & 1 & 2 & 3 \\ 3 & 0 & 1 & 2 \\ 2 & 3 & 0 & 1 \\ 1 & 2 & 3 & 0 \end{vmatrix}$$

問題 7 3次元ベクトル空間 $\mathbb{R}^3$ の3つのベクトル

$$\boldsymbol{v}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}, \boldsymbol{v}_2 = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}, \boldsymbol{v}_3 = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}$$

は、 $\mathbb{R}^3$ の基底であることを示せ。